

第3回 南関版コンパクトシティ構想策定委員会 議事録

-
-
- 日時：令和4年2月22日（火）10：30～12：05
 - 場所：南関町役場 2F 大会議室2
 - 参加者：（敬称略）
 - 【委員】末竹、上田、北原、立山、中村、猿渡、山下、西田
 - 【委員長】西郷
 - 【事務局】副町長、坂田、橋本、大森、西山（まちづくり課）
 - 【事務局支援】ランドブレイン：山田、工藤、吉山〔記〕
 - 内容：
 1. 開会
 2. 議事
 - ①モデル地区再生の検討
 - ②うから館の活用検討・構想の推進体制
 3. 次回の日程について
 4. 閉会

（以下議事録、敬称略）

1. 開会

2. 議事

- ・（事務局支援）A～C案の違いは、役場跡地周辺の使い方である。いずれも耐震性が低い旧役場及び公民館は更地にして活用する案となっている。
- ・（事務局）3案の疑問点や懸念点、良い点を述べていただきたい。1案に絞るのではなく、各案に異見をいただきたい。本構想では1案としてとりまとめしていく。
- ・（委員）3案はどの時点でできあがったのか。各機能について上位プランがあったのであれば、本委員会以外でも意見を集約できたのではないかと。
 - －（事務局）元々あったプランではなく、WSや町民アンケート等を参考にしながら1から作成した。
- ・（委員）WSから出ていた意見である。うから館について。プレイルームに図書館をミックスした意見もあったと思うが、スペース的に難しかったということか。
 - －（事務局支援）ミックスもできるが、小さくなる。分けている理由として、町民の交流拠点が前提となるが、核となる機能が必要。核となる機能は図書館以外に、子どもや高齢者の遊び場の2パターンとなり、各機能は1つに絞った案とした。
 - －（委員長）それぞれの機能が小さくても集約してほしいという声もあるかもしれない。

- ・（委員）モデル地区について。いずれも良いと思うが、一度に集約してやるというのはスペースや財源的な課題もあつたりすると思う。優先順位をつけて必要な機能は順次充実させていけるとよい。
 - －（委員長）参考までに、どの機能が優先順位が高そうか。
 - －（委員）ベンチャー支援は箱ものができて起業した人が来るかという懸念もある。個人的にはC案がよいと思う。若者の働き手はいるのに町外に住まれているという課題がある。現役世代にはまるようなまちに魅力があれば住んでみたい人も増えるのではないか。

- ・（委員）役場跡地周辺にどのくらいの住宅が建てられそうか。
 - －（事務局支援）具体的な戸数は出していないが、3階建て～4階建てとなると20～30戸は入ると思う。建売にすると買って終わりになってしまうので、賃貸がいいのではという意見がWSで出ていた。山都町では若者向け賃貸を作ろうとしており、4～5年住んで土地を探してもらおう、という計画である。若者が常に入ってきて、住みながら定住地を探せるようになるとよい。
 - －（委員）御茶屋跡近くに建てるべき必要性が懸念。景観的にもどうなのか。観光客にとってイメージはよくないかもしれない。B案のように散策の道があるとよい。

- ・（委員）大津山団地の土地が余っている。この土地の活用はどうか。
 - －（事務局支援）建設課で検討を進めており、町営住宅建替えをどこで検討するかによる。歩いて暮らせる利便性を考えると、役場跡地の方が立地がよい。

- ・（委員）郷土資料館は誰もこない施設になることが多い。わざわざ作る必要があるか。人が来る仕組みづくりが必要。モノを置けばいいわけではない。専門員が常駐して見せる活動を起こす必要がある。町が目指す図書館が何になるのかによるが、移転するのであれば移転しがいいのある、価値ある図書館にすべき。コロナ禍でプレイルームが閉じられている中、感染症対策も含めて安全管理も懸念である。結果使えない施設になるのは避けたい。プレイルームも常時、専門スタッフがいないといけな。ボランティアでやるのか、受付スタッフがやるのか。有料施設にするのかなど。どのくらいのグレードを目指すかにしても、長く使える施設にならなければならない。
 - －（事務局支援）まだ運営面までは検討していない。うから館はどれくらいのグレードかによって改修費が大きく変わる。役場跡地を活かすなら、御茶屋跡との連携性のある機能がよいかと思った。他事例をみても郷土資料館はあまり人気がない。運営がきちんとしていないところも多い。運営に関しては、町直営、指定管理のほか、住民連携の運営も考える。他自治体で、婦人会のメンバーが日替わりでカフェ（定食など）を運営するというスタイルもある。図書館になると司書なども必要なので、統括運営を誰にするかという懸念はある。
 - －（事務局）現在の図書館に司書はいる。新しい図書館スタイルを目指す場合、司書資格のある町職員も入った運営体制の検討も可能かと思う。

- ・（委員）図書館を移転するのかどうか。個人的には移転し、民間が参入した図書館や電子書籍に触れられる図書館など、新たな発想で運営されたい。史跡も抱き込んだ一体感のあるまちづくりができるよう、方向性がかたまるとよい。

- ・（委員）デンマークの図書館が参考になる。2パターンあり、日本と似た図書館と、

寝転んだりお茶を飲みながら本が読めるスタイル・PCも扱える図書館があった。図書館を2つ持ち、機能として分けては。

- ・（委員）図書館をうから館に移すと役場跡地が自由に使える。南関町には食堂が少ないと言われているので、うから館で定食・軽食が提供されるとよい。
 - －（事務局支援）ぼつんと図書館だけが残るのは懸念。入口も狭いので、仮に財源に余裕があれば図書館を廃止すると入口も広くなるのでは。
 - －（事務局）そこまでの想定は町としてはしていない。あくまで施設活用に注力して検討を進めたい。
 - －（事務局支援）よくスタバをとられるが、出店基準が厳しいので難しいと思う。
- ・（委員）伝統工芸の資料が多い一方で、その価値がわからず個人で処分してしまう人も多い。預かる拠点としての郷土資料館は貴重。経済効果はなくても、倉庫としてだけでも十分に有用である。
- ・（委員）構造上壁抜きが難しい点について。防災のことを考えると家族風呂はシャワー室として確保してもよいのでは。2Fもあわせて空調が不安定である。
 - －（事務局支援）シャワーを付けるのは技術的には可能だが、予算次第である。
 - －（事務局）2Fの空調は更新している。1Fは改修とともに空調やり替えの予定である。2Fは公民館がなくなるので、その代わりとして活用することとなる。ホール、会議室機能として活用する。
- ・（委員）ビジターセンターが必要。観光で目玉になるものはないが、1つ1つ説明するとおもしろい施設も多い。大河ドラマ館のようなおもしろみのある資料館が御茶屋跡近くにあると良い。御茶屋跡と一体的な管理もできるよう。
 - －（事務局支援）観光案内所レベルなら可能かと思う。また、移住定住窓口があるとよいと考えているが、ニーズと規模を考えながら検討しなければならない。
 - －（委員）ホテルセキアの団体客が御茶屋跡に訪れている。ホテルとタイアップしてPRするなど、来訪は見込めるのではないか。
- ・（委員）ビジターセンターは必ずしも御茶屋跡でなくてもよい。うから館に常駐人がおり、町民の交流拠点になるならそこでもよい。町内外の人が交流できる場になるとよい。
- ・（委員）全小学校の保護者にアンケートをとり、放課後の過ごし方について聞いた。遊び場が少ない。山や川も危ないからと禁止されている。町HPでも結果は公表しているので、参考にしてほしい。
- ・（委員長）役場とうから館の生涯学習機能の住み分けは。
 - －（事務局）実際には特別教室棟の改修が必要であることがわかった。公民館利用者は舞踊など文化芸能活動の場所を求められているので、そこはうから館2Fを活用してもらうようにする。

- (委員長) 特別教室棟の活用をにおわせる記述は除いた方がいいのでは。
- ・ (委員長) 観光案内所の設置についてはどう考えているか。
 - (事務局支援) 役場には観光係があるのみ。
 - (委員長) 窓口のみであれば役場の中にあってもいい気がする。
- ・ (委員長) 資料①。シェアハウスとなっている記述がある。子どもも高齢者も多世代が交流している写真を使ってほしい。
- ・ 資料②。うから館図面に方位を入れて欲しい。増築棟の壁厚が 180 mm に修正。
 - (委員) うから館 2F の活用方針もあわせて記載してほしい。

3. 次回の日程について

- ・ (事務局) 意見を集約し、構想の素案を作成してパブリックコメントを 2 週間程度かける。素案に関してご意見あれば提出いただきたい。最後に 3 月に委員会を開催し、日程調整をさせていただきたい。

4. 閉会

以上